

研究実施のお知らせ

2026年1月16日 ver.1.0

研究課題名

広範囲顎骨支持型装置・広範囲顎骨支持型補綴の効果・予後に関する単機関後方視的観察研究

研究の対象となる方

2012年4月から2025年12月の間に当院歯科口腔外科/顎顔面インプラントセンターにて保険適応のインプラント治療を受けられた患者さん

研究の目的・意義

当院歯科口腔外科/顎顔面インプラントセンターでは、多くの患者さんに、顎口腔機能の回復および再建治療を目的にチタン製の歯科インプラントを用いた治療を行っています。2012年の歯科診療報酬改訂で、適応は限られますが、お口や顎の腫瘍やけが、先天性疾患により顎の骨の欠損が生じた患者さんに対する歯科インプラント治療が保険導入されました。そこで保険導入された歯科インプラント治療後の長期的な予後に関して、その後の治癒経過についての評価を行い、その有用性を示すために、調査を実施します。

本研究は、歯科インプラント治療の併発症とそれに関連する要因を明らかにすることで、安全かつ効果的な治療や管理が可能となることに貢献できる意義があります。

研究の方法

当院に保存されているカルテを含めた医療情報から、保険導入された歯科インプラント治療の臨床評価および予後経過に関するデータを収集し、その治癒の状況に関して、臨床的およびレントゲン写真等の経過事項について評価を行います。患者さんのお名前等の個人情報にはデータに含めず、個人を特定できない状態にしたデータを扱います。

<採取するデータ項目>

- 1) 現疾患（癌・良性腫瘍・口腔顔面外傷・炎症・先天性）
- 2) 原発部位
- 3) Stage 分類（UICC TNM 分類）
- 4) 埋入時年齢

- 5) 性別
- 6) 放射線治療の有無（埋入対象部位への照射があれば有，照射が埋入部位に及ばなければ無とする）
- 7) 放射線性顎骨壊死の有無
- 8) 残存歯数（機能歯数を記載，ポンティック，重度動揺歯，残根を含まない）
- 9) 埋入年月日（西暦）
- 10) 埋入本数
- 11) 埋入部位
- 12) 軟組織移植の有無
- 13) 外科的再建の有無（外科的再建には広範囲顎骨支持型装置の埋入にあたり，骨造成，腓骨再建，皮弁修正などの外科的処置全般を行ったか否か）
- 14) 再建部位
- 15) 外科的再建の処置名
- 16) 再建骨の種類
- 17) 補綴装置の有無
- 18) 補綴装置の装着日（暫間被覆冠と最終補綴の装着日）
- 19) 補綴装置の種類（ブリッジタイプかデンチャータイプか）
- 20) アタッチメントの種類（バータイプかスタッドタイプか）
- 21) 広範囲顎骨支持型装置の生存の有無（顎骨内に残存しているか否か）
- 22) 広範囲顎骨支持型装置の脱落の有無と脱落年月日
- 23) 広範囲顎骨支持型装置の成功の有無（補綴装置が装着され，機能していれば有，機能していなければ無）
- 24) インプラント体の破折の有無と発生年月日（確認した年月日で可）
- 25) アバットメントスクリュー/上部構造スクリューの破折の有無と発生年月日（確認した年月日で可）
- 26) 広範囲顎骨支持型補綴装置（上部構造/アタッチメント）の破折・破損の有無と発生年月日（確認した年月日で可）
- 27) その他併発症と発生年月日（上部構造の不具合を含む）（確認した年月日で可）
- 28) レントゲン写真による広範囲顎骨支持型装置の所見

研究の期間

2026年2月24日～2028年3月31日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授 管野貴浩

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部歯科口腔外科学講座 教授 管野貴浩

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2301 FAX 0853-20-2299